

青森県ロジスティクス戦略2ndステージの概要①

(目的、これまでの成果と環境変化、将来像、取組体系)

平成26年1月に策定した「青森県ロジスティクス戦略」に従い、5年間にわたり「産業力強化」と「物流拠点化」の観点から取組を推進してきた結果、青森県総合流通プラットフォームA!Premiumの構築を始めとした様々な成果があった一方、ロジスティクスをめぐる様々な環境変化が顕在化する大きな転換点を迎えていることから、これらに対応するとともに、Local to Local、Local to Worldの実現をめざして、2ndステージを策定したものである。

□ 戦略の目的

- 時間、距離、コスト、情報の壁を乗り越えて、需要(消費市場)と供給(生産市場)が円滑につながる環境づくりが不可欠。
- また、トラックドライバー不足や物流業界における業務効率化の動きなど、ロジスティクスをめぐる環境は大きな転換期。
- これらに対応するため、ロジスティクス基盤(円滑な商流環境や最適な物流環境)を中長期的な視野の下に育成・整備し、国内・世界との経済交流の拡大をめざす。

□ 青森県ロジスティクス戦略の成果と ロジスティクスを取り巻く環境変化

【産業力強化】

- 青森県総合流通プラットフォームA!Premium流通サービスの構築
- A!Premiumの利用により、西日本や海外向けに本県産の生鮮品が出荷可能となったほか、その他の県産品の販路拡大にも寄与
- 各種輸送トライアルをきっかけとした民間主導の取組の拡大

【物流拠点化】

- 八戸港国際物流ターミナルの機能強化(取扱能力アップ、リーファープラグの増設)
- 八戸港におけるLNG輸入基地運転開始及び韓国航路の開設

【ロジスティクスを取り巻く環境変化】

- 宅配荷物の増加や不在再配達増加等に伴うトラックドライバー不足や高齢化
- アジアを発着するコンテナ貨物の大幅な増加と国際基幹航路における国内港湾の相対的な位置づけの低下

□ 戦略の将来像(2030年のめざす姿)

『北東アジアにおけるグローバル志向のロジスティクス拠点』

《拠点像1》アグリビジネスを支えるロジスティクス拠点

農林水産業をベースに、調達、生産、販売といった一貫した経営ノウハウとグローバルな視点を持ったアグリビジネスを育成しながら物流の高度化を進め、北日本の農林水産品等を世界の市場に送り出す拠点をめざす。

《拠点像2》国際的な物流動脈と直結したグローバル志向のロジスティクス拠点

津軽海峡を通過する船舶の寄港や環日本海物流の拠点としての機能整備を進め、北日本における産業のグローバル化を支えるロジスティクス拠点をめざす。

《拠点像3》食料・資源・エネルギーに関するロジスティクス拠点

飼料穀物や工業製品に必要な原料貨物(バルク貨物)、LNG等のエネルギー資源の安定的な確保と供給が可能な物流拠点や中継拠点として、日本や世界に貢献することをめざす。

□ 取組体系(2019年度～2023年度)

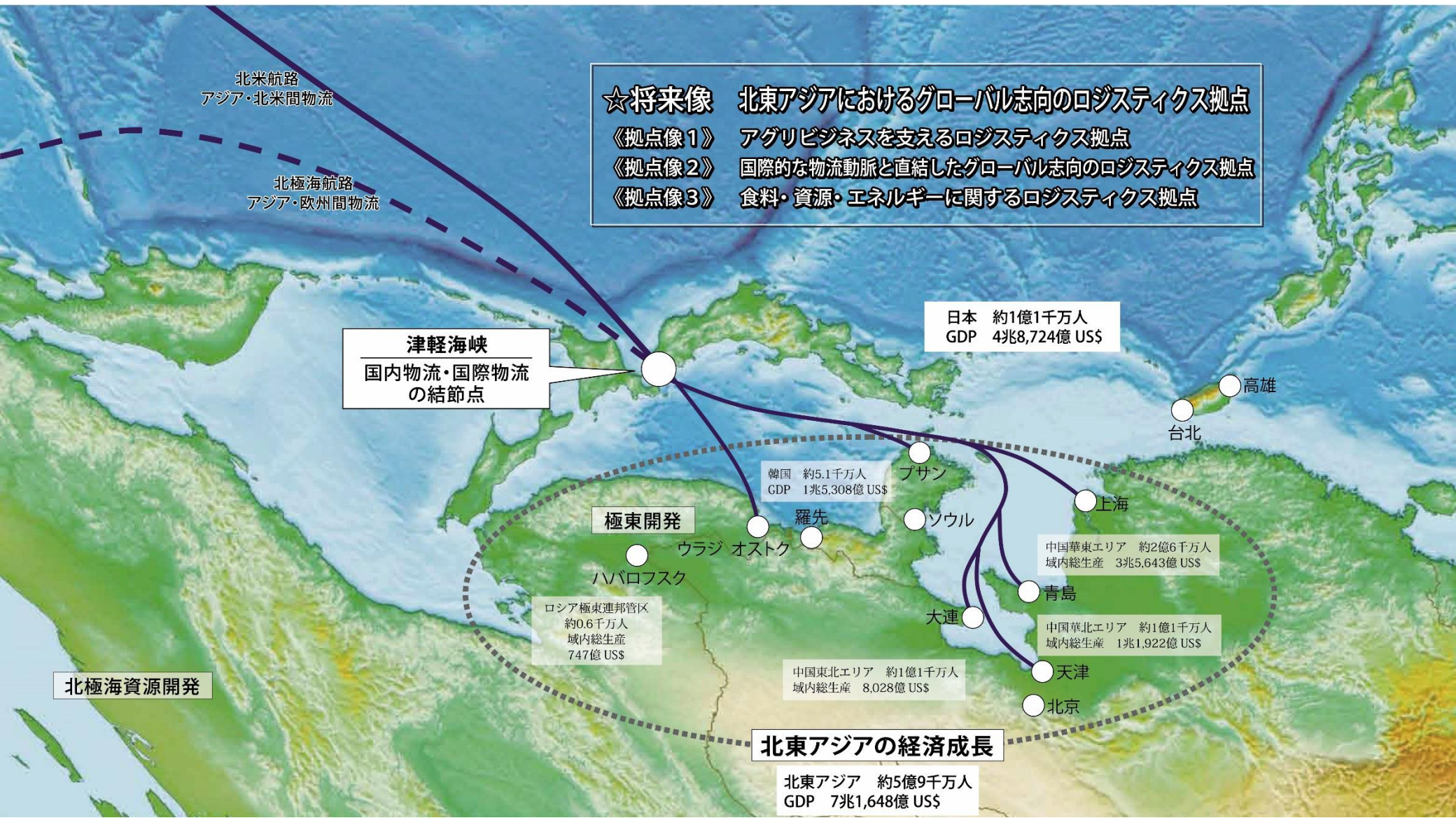
- 将来像の実現に向けては、「産業力の強化」と「物流拠点化」の2つの分野での取組を表裏一体で推進
- それぞれの分野で中長期的な方向性を示すとともに、戦略期間中の短期的な目標を掲げ、4つの取組視点の下、具体的な10の取組を提示
- 各取組を着実に推進するとともに、環境変化に応じたブラッシュアップを図りつつ、取組間で相互に連携し、相乗効果が生まれるよう推進

青森県ロジスティクス戦略2ndステージの概要②

(戦略の全体像：短期から将来への全体フロー)

分野	短期的な取組視点と取組(2019～2023年度)	短期目標	中期的な施策展開の方向性(2019～2030年度)	2030年度における将来像
産業力強化	<p>取組視点1 ロジスティクス課題の改善による農林水産品の国内外展開支援</p> <p>取組1 青森県総合流通プラットフォームの進化・発展</p> <p>取組2 各種輸送トライアルによる物流課題の改善と新たな流通経路の確保</p> <p>取組3 品目や輸送量ごとの最適な輸送手段の検討と輸出における商流の具体化支援</p> <p>取組4 ロジスティクスに係る人財育成・企業支援</p>	農林水産品の流通拡大	<p>1 国際競争力のあるロジスティクス基盤の構築</p> <p>(1) 立体的・重層的な物流基盤の構築</p> <p>(2) ロジスティクスに関連する多様な産業の充実・強化とネットワーク化の推進</p>	<p>○ 北東アジアにおけるグローバル志向のロジスティクス拠点</p> <p>1 アグリビジネスを支えるロジスティクス拠点</p>
	<p>取組視点2 モーダルミックスや共同輸配送による物流の効率化支援</p> <p>取組5 将来のトラックドライバー不足等を見据えたモーダルミックスの推進</p> <p>取組6 地域における共同輸配送等に向けた取組の支援</p>		<p>2 グローバル志向のロジスティクス拠点化に向けた物流インフラの整備と航路の充実</p> <p>(1) 北米航路・北極海航路の本船寄港を見据えたロジスティクス基盤の整備</p> <p>(2) 本県港湾群の一体的運用や適切な役割分担</p>	<p>2 国際的な物流動脈と直結したグローバル志向のロジスティクス拠点</p> <p>3 食料・資源・エネルギーに関するロジスティクス拠点</p>
物流拠点化	<p>取組視点3 物流インフラのハード・ソフト両面での利便性向上による貨物の集積</p> <p>取組7 県内港湾及び空港の整備促進と機能強化</p> <p>取組8 県内主要幹線道路ネットワークの整備促進</p> <p>取組9 定期航路・航空路線の充実による県内港湾・空港の利便性向上</p> <p>取組視点4 北米航路、北極海航路を意識した津軽海峡エリアの利活用促進</p> <p>取組10 北米航路や北極海航路の継続的研究と津軽海峡エリアの利活用方策の検討</p>	貨物の集積と航路の充実		

青森県ロジスティクス戦略の概要③ (将来像イメージ図)



☆将来像 北東アジアにおけるグローバル志向のロジスティクス拠点

- 《拠点像1》 アグリビジネスを支えるロジスティクス拠点
- 《拠点像2》 国際的な物流動脈と直結したグローバル志向のロジスティクス拠点
- 《拠点像3》 食料・資源・エネルギーに関するロジスティクス拠点